



# みやざき市 ケアマネ協だより

宮崎市介護支援専門員  
連絡協議会  
広報誌  
発行日：令和6年2月

## 橿南地区包括支援センター あおきオレンジカフェ



季節に合った作品を皆さんと楽しく作ります♪



皆さん上手に作られ、楽しそうです♪



公民館内の入口付近に参加料を収めて頂く小さなふた付き箱と、月に応じて、手作りの絵を飾ります♪



橿南地区包括支援センター  
吉村町大字甲1922番地1  
0985-23-0001



## 宮崎市佐土原町に開設された

## 在宅診療所を紹介します



潤和会記念病院の緩和ケア病棟に勤務されており、末期がんの患者さんが自宅に戻ろうとされたときに、訪問診療をしてくれる先生が少なく受け皿がないこと、特に佐土原や新富地区は訪問診療に対応してくれる病院やクリニックが少なく困っているかたがたくさんいらっしゃることで、自分でここにクリニックを開業して、訪問診療を始めようと思ったのが一番の理由です(2022年3月開業)。現在は、高鍋地区までメインエリアになりつつあります。

又、20年以來、痛みペインクリニックの専門医として患者さんの様々な痛みを治療してきました。私の持っている知識と経験を在宅医療に活かし、苦痛のない穏やかな暮らしを患者さんやその家族に提供するため、タナカ在宅クリニックを開業することにしました。この地域で暮らす皆様に安心・温もりを感じていただき、暮らしていただけるクリニックを目指して努力していききたいと思います。

そして、訪問診療を行う上で大切なことはチーム力だと思います。医師一人の力ではできないのではなく、看護師や薬剤師、理学療法士などのさまざまな職種が連携をするチーム医療です。患者さんにとってより良い医療を提供するためにはチーム力が不可欠で、そこに私自身もとても大切にしている部分になります。実は、高校、大学とラグビー部に所属していたのですが、ラグビーというスポーツもやはりチームワークが必要なんです。「One for all, All for one」というラグビーの精神が、今の医療にも生かされていると思います。

最後に、住み慣れた町、住み慣れた場所で、その人らしい人生や暮らしを可能なかぎり最期まで継続できるように支援していく。これが在宅医療の大きな目標です。私たちは、そのような在宅医療を望まれる患者さんの伴走者となり、支援していききたいと思います。



田中信彦先生

### タナカ在宅クリニック

宮崎市佐土原町下田島20297-45

TEL 0985-55-0225

〈主な診療内容〉

疼痛管理・在宅中心静脈栄養  
在宅管理栄養・在宅酸素・その他



### 続編:アルツハイマー病の新薬レカネマブ

前回、ご紹介したアルツハイマー病新薬レカネマブ(商品名レケンビ)、脳内に蓄積するタンパク質「アミロイドβ(Aβ)を取りのぞき、認知症の進行遅らせる効果が初めて認められた薬で令和5年12月20日に保険診療が可能になりました。(東京と大阪で投与開始)



対象:女性(50歳代)

2020年の夏頃から、夫にもの忘れを指摘されるようになり、早期のアルツハイマー病と診断される。脳内のAβの蓄積も確認される。体調を確認し、1時間余りかけて点滴で投与を受ける。アレルギー反応も備えて、院内で待機。今後も2週間ごとに通院し、点滴を受ける。定期的にMRI検査も受け、脳内に微小出血などの副作用が起きていないかチェックする。

対象:男性(50歳代)

若年性認知症と診断され通院されている方に投与される。

\* 副作用:脳の微出血や腫れ・頭痛等  
頭痛や発熱、嘔吐等の異常が認められた場合は投与の中断や中止も必要

投与期間は原則1年半で中等度まで進んだら中止、状態を再評価。2週に1度の点滴。病状を改善するという薬でないのに効果を実感するのは困難ですが、見方によっては認知症とよりよい「共生」を長い期間にわたって実現できる可能性があることが期待されるのではないかと述べられています。

レカネマブの治療施設は、専門医が治療の責任者として常勤で複数配置されており、MRIで脳画像を撮影する検査ができることに加えて、PETやCSE(脳脊髄液)に対応できることが条件となっています(初回投与から半年間は医療機関を限定)。



Tokyo

Osaka

# 新NISA始まる！

いま注目されている新NISAについて調べてみました！

ある金融機関に取材を予定していましたが、今回は今はやりのChatGPTに質問してみました。

**新NISAをしている方は増えてきていますか？**

正確な数字はまだ出ていませんが、積み立てNISA口座を持っている人は835万人以上でうち、20代、30代の方が47%を占めています。

**始めるきっかけは何でしょうか？**

NISAを始めたきっかけとして最も多かった回答は、「テレビで情報を見て」の20.2%です。続く「金融機関からのすすめ」は、19.7%と同じくらいの割合になっており、いつも使っている金融機関の店頭や郵送物等で案内を受ける機会があったのかもしれません。次に「友人・知人・家族からのすすめ」が17.0%で、上位3つのきっかけはいずれも僅差でした。



**そもそも新NISAとはどのような制度でしょうか？**

2024年から始まる新しいNISA制度は、非課税投資枠の拡大、非課税保有期間の無期限化など、これまでのNISA制度と比べて利便性が大きく向上しており、長期的な資産形成に適した制度です。

**何歳からできますか？**

年齢は18歳以上から可能です。

**いくらからできますか？**

100円からでも出来るネット証券もあります。

**新**



**NISA をすることでお得になることはありますか？**

たとえば投資で20万円の利益が出た場合、通常の課税口座(特定口座や一般口座)では約4万円を納税しなければなりませんが、NISA口座で投資していれば、得られた利益はまるまる受け取ることができます。

**注意点はありますか？**

「『必ず儲かる』などという記載があったら、どれも間違いなく詐欺です。昨今、著名人の名前や写真を無断使用した詐欺広告が増えているので、注意が必要です」



今回は昨年8月号で記事を取り上げました「フードバンクみやざき」様の続編です。今回は事業所の紹介をさせていただきましたが、委員Sが利用させていただくようになった経緯とあわせて、利用にあたっての手続きの仕方や注意事項などを紹介させていただきます♪



### ～広報渉外委員ケアマネS 体験談～

年末も押し迫ってきた昨年の12月8日、訪問介護事業所の管理者から電話がありました。担当している利用者さんのことであり、前日は買い物支援の日でしたが「所持金がほとんどないため買い物ができなかった」とのことでした。

本人様は90代であり身体障がいを抱える息子様との2人暮らしですが、生計や暮らしは別です。所持金だけでなく食料品もないとのことで、訪問介護の管理者さんと自宅訪問することとしました。アポなしで訪問しましたがご不在で、思い当たるコンビニエンスストアへ行ってみたところ、本人が店内のキャッシュサービスの受話器を取り担当の方と話をしておられました。後で事情を伺うと「持っているカードを使って借金をしようと思った」とのことでしたが、やり取りがうまくいかなかったようです。本人様は生活保護受給のため借金はできません。

そのまま一緒に自宅へ帰り、確認したところ1900円ちょっとしか所持金がなかったため、年金受給日までの1週間の生活を考えるとしんどいと判断しました。訪問介護の管理者が持参してきた即席麺や保存食を提供したものの十分な量ではありませんでした。年金支給日までの食料の提供をみやこやさんへお願いしました。みやこやさんは快くお受けいただき、当日に当事業所の登録をしてそのままたくさん食料品をいただき、利用者さんへお届けできました。本人、とても喜ばれました。みやこやさん、本当にありがとうございました。

### ケアマネとしての本人支援内容

担当者会議を開催し、訪問介護、訪問看護、通所リハビリ事業所へ、訪問時に食料ストック分を確認し困っている状況にあれば連絡をいただくように依頼。また、長男様にも今後の金銭管理を依頼し、訪問介護の買い物支援の日の所持金の準備も依頼しました。

### ～フードバンクみやざき様利用にあたって～

- ①食品の受取を希望される団体は、「利用団体登録申請書」「合意書」をご提出ください。
- ②各団体は、フードバンクみやざき指定の中継拠点にて提供食品を受取願います。

#### ○事業所の活用法

例1)個人で必要なものをフードバンクみやざきで受取る

例2)事業所でまとめてストックし、都度配る

※お渡しする際に、特定の個人の情報はお尋ねしません。

#### ○お守りいただきたいこと

フードバンクみやざきでは、食品企業より寄贈を受ける際、商品の扱い等に関する合意書を締結しております。そのため、食品受領にあたっては次のことを必ずお守りください。

#### (1)賞味期限の厳守

定められた賞味期限は絶対に厳守してください。商品受領時に賞味期限やアレルギー、商品の状態を必ずご確認願います。

#### (2)寄贈食品利用者の限定と提供状況の記録

フードバンクみやざきからの寄贈食品は原則として団体内の消費をお願いします。個人情報保護の観点から提供先個人名の提供は求めませんが、食品リコール発生などの際には受け取られた方への連絡をお願いすることがありますので各事業所様で把握していただくと助かります。

また、他の団体へ食材をお渡しすることは原則として禁止をしています。

但し、中間支援的な機能をもつ事業所様については、必要な手続きをさせていただいた後、食材をお渡しすることができますので、ご相談ください。

フードバンクみやざきで取扱う食品は寄贈主(企業)より、万一の時のためのトレーサビリティの確保を条件にご寄贈いただいておりますので、ご理解ご協力をお願い致します。



フードバンクみやざき 〒880-0875 宮崎市曾師町111-3

電話番号0985-24-9579(デイサービスみやこや)

代表:長友宮子さん